

日本育種学会 第110回講演会プログラム

2006年秋季 愛媛大学

大会本部 (TEL : 080-1970-0666 期間中のみ)

9月21日	午後	幹事会 14:00~18:00 (大学会館3階 集会室)
-------	----	------------------------------

		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
		グリーンホール	講11	講21	講24	講35	講45
9月22日	午前	遺伝子・蛋白質	ゲノム解析	変異解析	発育生理	抵抗性 品質成分	遺伝資源 系統分化
		101-109 9:00-11:15	201-209 9:00-11:15	301-309 9:00-11:15	401-409 9:00-11:15	501-509 9:00-11:15	601-609 9:00-11:15
	ポスター (奇数番号) 11:15-12:15 (大学会館2階)						
9月22日	午後	シンポジウム 13:00~17:00 I. 中四国地域に根ざした作物におけるトランスポゾン様因子の解明と応用の新展開 (第1会場) II. 植物と寄生者との相互作用”理論と機能から育種学へ (第2会場) III. 植物の育種研究を支えるバイオリソース (第3会場)					
		懇親会 18:00~20:00 (大学会館1階)					
9月23日	午前	遺伝子・蛋白質	ゲノム解析	変異解析	発育生理	抵抗性 品質成分	遺伝資源 系統分化
		110-118 9:00-11:15	210-218 9:00-11:15	310-314 9:00-10:15	410-418 9:00-10:15	510-518 9:00-11:15	610-618 9:00-11:15
	ポスター (偶数番号) 11:15-12:15 (大学会館2階)						
9月23日	午後	遺伝子・蛋白質	品種育成	変異創成	発育生理	抵抗性 品質成分	遺伝資源 系統分化
		119-136 13:00-17:30	219-230 13:00-16:00	319-335 13:00-17:15	419-436 13:00-17:30	519-529 13:00-15:45	619-634 13:00-17:00
	グループ研究集会 18:00-20:00						
9月24日	午後	市民公開シンポジウム 13:00~17:00 (愛媛大学教育開発センター グリーンホール)					
		地方品種の時代 地域遺伝資源を育種で活かす 主任 山口聰 (愛媛大学) 「地域遺伝資源の保存と活用」 河瀬真琴 (生物資源研ジーンバンク/植物遺伝資源チーム) 「在来遺伝資源を活かした食材開発と地域振興」 牧 秀宣 (ジェイ・ウィングファーム) 「合成周縁キメラ育種法による新しい香味のミカン品種群の開発」 脇塚 巧 (全農愛媛県本部青果事業部) 「耐病性アコヤガイの交配育種」 内村祐之 (愛媛県魚病指導センター) 「シンテッポウユリのバイオテク育種」 栗坂信之 (愛媛県農業試験場) 総合討論 地域生活の活性化と新品種開発					

9月21日	幹事会 (大学会館 3階 集会室)
14:00 ↓ 18:00	

一日目 (9月22日) 午前			
9月22日	第1会場 (グリーンホール)	第2会場 (講11)	第3会場 (講21)
	◆座長 加藤 明 (北海道農研)	◆座長 久保山 勉 (茨城大農)	◆座長 高年禮 逸朗 (北海道大院農)
9:00	101 ○伊藤博和1・飯野照彦2・澤田博司2・正木俊平1・山田哲也1・金勝一樹1(1.農工大農、2.日大文理) 植物細胞中におけるリン酸化タンパク質検出法および精製法の検討	201 ○石川吾郎1, 米丸淳一, 齊藤美香1, 芦田泰三2, 那須田周平2, 遠藤隆2, 中村俊樹1(1.東北農研, 2.京大院農) イネPLUGシステムを用いたコムギ遺伝子特異的マーカーの開発	301 ○岩田洋佳1, 宇賀優作2, 江花薫子2, 林武司2(1.中央農研, 2.生物研) マルコフ連鎖モンテカルロ法を応用した高精度アソシエーションマッピング法の開発
9:15	102 ○藤本優・有村慎一・中国幹生・堤伸浩(東大院農学生命科学) シロイヌナズナダイナミン様タンパク質DRP3のオルガネラ分裂における機能	202 ○米丸淳一・中村俊樹・石川吾郎・齊藤美香(東北農研) コムギ遺伝子間配列を特異的に増幅するintergenic PLUGマーカー作製の試み	302 ○松坂弘明1・熊丸敏博1・佐藤光1・荒巻功2(1.九大農、2.酒類総合研究所) 酒米品種「山田錦」が有するプロラミン変異の遺伝解析
9:30	103 ○吉原法子1・水谷正子2・奥原宏明2・田中良和2・藪谷 勤3(1.鹿児島連大、2.サントリー研究センター、3.宮崎大農) タッチアイリスにおけるフラバノン3-水酸化酵素遺伝子の単離とその機能発現	203 ○森川利信・杉村真理・栗山 伶(大阪府大院生命環境) エンバクの密穂遺伝子と連鎖するAFLPマーカーの探索	303 ○佐藤 光1・西 愛子1・田崎三香子1・荒巻功2・大坪研一3(1.九大農、2.酒類総合研究所、3.食品総合研究所) MNU処理により得たイネ心白突然変異の遺伝解析
9:45	104 Mohammad Pourkheirandish 1,2・Congfen He 1・Perumal Azhaguvel 1・金森裕之3・Dragan Perovic 4・Nils Stein 4・Andreas Graner 4・Thomas Wicker 5・田切明美1・Udda Lundqvist 6・藤村達人2・松岡信7・松本隆1・矢野昌裕1・小松田隆夫1(1.生物研、2.筑大農工系、3.農林水産先端研、4.ライブニッツ植物遺伝作物研、5.チューリッヒ大生物科学、6.スワロフ ベイブル オオムギ雑性遺伝子vrs1の単離	204 ○井上真以子・湯山奈々・才宏偉(飼料作物研) イタリアンライグラスにおける葉緑体ゲノム由来のSNPマーカーの開発	304 ○齊藤美香1,2・石川吾郎1・米丸淳一・中村俊樹1(1.東北農研, 2.日本製粉) コムギ変異型Wx-B1遺伝子の欠失範囲の同定
10:00	105 ○藤田直子1,2、吉田真由美1,2、浅倉典子1、斎藤かほり1、近藤友典1、内海好規1、宮尾安藝雄3、廣近洋彦3、中村保典1,2(1.秋田県大・生資、2. JST・CREST、3.生物研) 変異体を用いたイネスターチシンターゼの機能解析	205 ○久野裕1・笹本茂美1・和田津由子1・中崎直美1・磯部祥子2・Noel Ellis3・加藤友彦1・佐藤修正1・原田久也4・中村保一1・田畑哲之1(1.かずさDNA研究所、2.北海道農研、3. John Innes Centre, UK、4.千葉大・園芸) マメ科植物のゲノム構造比較と育種に向けた共通DNAマーカーの整備	305 ○藤野賢治・関口博史(ホクレン農総研) イネ第6染色体のゲノム構造の育種選抜による変遷
	◆座長 金勝 一樹 (東京農工大)	◆座長 森川 利信 (大阪府大院生命環境)	◆座長 岩田 洋佳 (中央農研)
10:15	106 ○大西成人・野田和彦(岡大資生研) コムギのABI5 (ABA insensitive five) 様遺伝子の染色体座乗位置と遺伝子発現	206 ○山下裕樹1・大山由美1・大住佳美2・田原誠1(1.岡大自然科学、2.岡大農) アズキ品種識別マーカー開発に向けたレトロトランスポゾン配列の分析	306 ○関口博史・藤野賢治(ホクレン農総研) イネ出穂日遺伝子Hd1の変異と地域分布
10:30	107 ○中勇篤1・石田義人1・水本公大1・血池辰徳2・村井耕二2・宅見薫雄1(1.神戸大農、2.福井県大生物資源) バンコムギのクラスB MADS-box遺伝子の構造と発現解析	207 ○大林憲吾・田島奈津子・茶谷正孝(長崎総農林試) Solanum stoloniferum由来ジャガイモ疫病真性抵抗性遺伝子(R2)に連鎖するPCRマーカーの開発	307 ○高年禮逸朗・杉田麻衣子1・桜井恒・長野宏則・佐野芳雄(北大院農、1.現 東大院農学生命科学) イネ2重外穎遺伝子[cbi(t)]の連鎖分析
10:45	108 ○加藤明1、石崎琢磨2(1.北農研、2.JIRCAS) 水稲北海道PL5の穂ばらみ期耐冷性QTL遺伝子のマッピング	208 ○白尾吏1・上野敬一郎1・松山知樹2・市田裕之3・阿部知子3(1.鹿児島バイオ研、2.理研・細胞生化学研、3.理研・仁科加速器センター) イオンビーム育種により育成した秋輪ギク品種「新神」のレトロトランスポゾン配列を利用した品種同定	308 ○村田和優1・宮尾安藝雄2・廣近洋彦2・新田朗1(1.富山農技セ、2.生物研) レトロトランスポゾンTos17の転移により生じたイネ乳白米突然変異体の解析
11:00	109 ○上田実1,2・堤伸浩2・門脇光一1(1.農業生物資源研究所、2.東大院農学生命科学) 水平転移により高等植物ミトコンドリアゲノムに移入したDNA断片	209 ○中川美緒1・服部玄2・奥西麗3・岡安浩次2・平田豊3(1.農工大・農、2.農工大院・連大、3.農工大院・国際) アブラナ科種間キメラに由来するCMS系統のミトコンドリアゲノム解析	309 ○堀泰子・西尾剛(東北大院農学) 新規イネwx alleleに挿入されているレトロトランスポゾン様配列の解析
11:15	ポスター (奇数番号) 11:15-12:15 (大学会館2階)		

一日目 (9月22日) 午前						
第4会場 (講24)	第5会場 (講35)	第6会場 (講45)	9月22日			
<p>◆座長 木庭 卓人 (千葉大園芸)</p> <p>401 ○阿部匡・黒下英昭・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学) イネ頂端分裂組織の維持に関わるflattened shoot meristem変異体の解析</p> <p>402 ○伊藤幸博1,2・倉田のり1,2(1. 遺伝研、2. 総研大生命科学) KNOX遺伝子が葉で異所的に発現するイネ突然変異体の解析</p> <p>403 ○山田華織1、○血池辰徳1、宅見薫雄2、村井耕二1(1. 福井県大生物資源、2. 神戸大農) 胚珠の形成に関与するコムギクラスD MADSボックス遺伝子WSTK1の同定と発現解析</p> <p>404 ○蝶野真喜子1・松中仁1・関昌子1・藤田雅也1・久保堅司1・金子成延1・安倍史高1・中村信吾1・声川育夫1・小柳敦史1・渡邊好昭2・久保友明1・田谷省三1(1. 農研機構作物研、2. 農研機構中央農研) 日本コムギ系統間における種子休眠性の比較</p> <p>405 ○春島嘉章1・栗木哲2・水多陽子1・藤澤洋徳2・倉田のり1(1. 遺伝研植物、2. 統数研) 配偶体内または接合体内の異なる遺伝子座間の相互作用による生殖的隔離障壁の検出</p>	<p>◆座長 船附 秀行 (北海道農研)</p> <p>501 ○前田哲1・Joseph G. Dubouzet1・大武美樹1・市川尚吾2・近藤陽一2・松井南2・小田賢司3・高辻博志1・廣近洋彦1・森昌樹1(1. 農業生物資源研 2. 理研 GSC 3. 岡山県生物科学総合研) イネ完全長cDNA高発現シロイヌナズナを用いたPseudomonas syringae pv. tomat DC3000感染抵抗性系統の選抜と解析。</p> <p>502 ○Ohm Mar Saw 1・古屋 成人1・加来 久敏2・吉村 淳1(1. 九大院農、2. 生物研) 水稲品種台中65号が有するミャンマー産イネ白葉枯病菌に対する抵抗性遺伝子のマッピング</p> <p>503 ○福岡修一・坂紀邦2(1. 生物研、2. 愛知農総試山間) DNAマーカーを利用したイネいもち病菌場抵抗性に関するQTLの集積</p> <p>504 ○大西孝幸1・吉羽洋周2・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学、2. 日立・中研) マルチストレス応答性転写因子遺伝子 OsNAC6 のプロモーター解析</p> <p>505 ○清水顕史1・小松亜希子2・加藤謙之2・長谷川博1・池橋宏2(1. 滋賀県大環境科学、2. 日大院生物資源) イネのリン酸欠乏ストレスによって誘導される酸性フォスファターゼ活性に関する量的遺伝子座は、発現遺伝子解析でも確認された</p>	<p>◆座長 平田 豊 (東京農工大)</p> <p>601 ○宮林登志江1、野々村賢一1,2、森島啓子3、倉田のり1,2 (1. 遺伝研、2. 総研大生命科学、3. 平塚市幸町) 遺伝研が保有するイネ属野生イネ系統のゲノムサイズ評価</p> <p>602 ○田浦悟1・杉田佑紀2・河原大輔2・河邊弘太郎1・P. H. Ton3・B. T. Thuy3・瀬古秀文3・一谷勝之2・佐藤宗治2 (1. 鹿大FSRC遺伝子実験施設、2. 鹿大院農学、3. ハノイ農業大学) 北部ベトナム産イネ品種におけるイネ白葉枯病抵抗性遺伝子の分布 II. 葉緑体DNAおよびアソザイムによる生態型の分類</p> <p>603 ○高橋弘子・中村郁郎(千葉大院自然科学) PolA1遺伝子第20エクソンの解析にもとづくイネ属の類縁関係</p> <p>604 ○信田清夏1・高橋弘子1・秋本正博2・H. Urairong3・石川隆二4・佐藤雅志5・佐藤洋一郎6・中村郁郎1(1. 千葉大院自然科学、2. 帯番大、3. タイ農務省、4. 弘前大、5. 東北大、6. 地球研) バンコクの不稔野生イネの中に封印された新しいアジア型AAゲノムの存在</p> <p>605 ○朝倉史明1・吉田晋弥2・森直樹3・大塚一郎1・中村千春3 (1. 神奈川大工、2. 兵庫県立農林水産技術総合センター、3. 神戸大農) イネ科植物におけるMutator様因子(MuLEs)の分布</p>	<p>◆座長 伊藤 幸博 (遺伝研)</p> <p>406 ○水多陽子1,2・春島嘉章2・倉田のり1,2(1. 総研大生命科学、2. 遺伝研) イネ「日本晴」と「Kasalath」の雑種花粉で相互作用する2遺伝子座に起因する生殖的隔離</p> <p>407 ○野々村賢一1,2・諸星亜加子1・倉田のり1,2(1. 遺伝研、2. 総研大生命科学) イネ属野生種における減数分裂遺伝子PAIR1の比較ゲノム解析</p> <p>408 ○木庭卓人1・狩野有香1・佐々英徳1・石川正美2(1. 千葉大園芸、2. 千葉県農総研セ) イチゴの2倍体種Fragaria vescaおよび8倍体栽培品種F. X. ananassaにおける減数分裂</p> <p>409 ○山形 悦透・土井 一行・安井 秀・吉村 淳(九大院農) イネの花粉発育異常に関与する突然変異遺伝子のマッピング</p>	<p>◆座長 福岡 修一 (生物研)</p> <p>506 ○吉原利一1、朴惠卿1、庄子和博1、後藤文之1、鈴木千世2、中村英光3、羽方誠3、市川裕章3、松井南4、市川尚吾4、廣近洋彦3 (1. (財) 電中研・環境科学、2. (独) 農研機構・畜草研、3. (独) 農生資研、4. (独) 理研・GSC) Fox-hunting法をもちいたイネCd耐性・蓄積能関連遺伝子の探索</p> <p>507 ○北川悦子1・佐藤友博1・Shohab Youssefian2・猪谷富雄3・草野友延4(1. 秋田農林水産技術セ・農試、2. 秋田県立大、3. 広島県立大、4. 東北大院) 導管液を用いたイネ根節から茎葉部へのカドミウム移行性の解析</p> <p>508 ○Muhammad A. Javed1, T. Ishii2, O. Kamijima2 and S. Misoo2 (1. Grad. Sch. Natural Sci., Kobe U., 2. Fac. Agr. Kobe U.) Generation of F1 doubled haploid lines using indica cultivar Pokkali and evaluation for salt tolerance at seedling stage</p> <p>509 ○船附秀行1、羽鹿牧太2、山田哲也2、田中義則3、萩原誠司4、辻博之1、石本政男1、藤野介延5(1. 北海道農研、2. 作物研、3. 道立中央農試、4. 十勝農試、5. 北大院農学) ダイズの耐裂莢性に関するDNAマーカーの同定と利用</p>	<p>◆座長 中村 郁郎 (千葉大院自然科学)</p> <p>606 ○Victoria C. Lipatan1,3, Darshan S. Brar2, and Toshinori Abe3 (1. PhilRice, Philippines, 2. IRRRI, Philippines, 3. Fac. Agr. Yamagata U.) Genetic Diversity of the Parental Lines in Breeding for Rice Grain Quality Improvement Using SSR Markers.</p> <p>607 ○Sarhadi, W.A.・Nguyen, L.H.・Phan, T.P.N.・平田豊 (農工大・院・連農) アフガニスタンにおける香り米の形質分類</p> <p>608 ○橋爪不二夫1・林克弘1・奥西智哉2(1. 三重科技セ、2. 中央農研) リアルタイムPCRによる混米率の測定法</p> <p>609 ○寺沢洋平1・笹沼恒男1・河原太八2・笹隈哲夫1(1. 横浜市大木原生研、2. 京大農) アフガニスタンのコムギ在来品種の遺伝的多様性 V. AFLP解析</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p> <p>10:30</p> <p>10:45</p> <p>11:00</p>
<p>ポスター (奇数番号) 11:15-12:15 (大学会館2階)</p>			<p>11:15</p>			

一日目 (9月22日) 午前			
9月22日	第1会場 (グリーンホール)	第2会場 (講11)	第3会場 (講21)
	シンポジウムI	シンポジウムII	シンポジウムIII
13:00 ↓	中四国地域に根ざした作物における トランスポゾン様因子の解明と応用の新展開	植物と寄生者との相互作用” 理論と機能から育種学へ	植物の育種研究を支えるバイオリソース
17:00	主任：富田 因則 (鳥取大学農学部)	主任：貴島 祐治 (北海道大学農学研究科) 安井 秀 (九州大学農学研究院)	主任：武田和義 (岡山大学資源生物科学研) 明石 良 (宮崎大学農学部)
	はじめに 武田和義 (岡山大学資源生物科学研究所)		
	1 イネ遺伝子の機能解析に向けたDNAトランスポ ンnDartの転移の制御機構解析とその利用 前川 雅彦 (岡山大学資源生物科学研究所)・ 梅根一夫・飯田滋 (基生研)	1 イネのウンカ・ヨコバイ抵抗性の遺伝学 安井 秀 (九州大学大学院農学研究院)	1 倍数体のモデル植物としてのコムギ 遠藤 隆 (京都大学大学院農学研究科)
	2 アワWaxy遺伝子のトランスポソンの挿入と人為選 択による進化 福永 健二 (総合地球環境学研究所)	2 イネのウンカ・ヨコバイ抵抗性の化学 金 哲史(KIM, Chul-Sa) (高知大学農学部生物資源科学科)	2 イネ多様性研究と育種機能解析を支えるイネリ ソース 倉田のり (国立遺伝学研究所系統生物研究センター)
	3 カキのTy 1-copia型レトロトランスポソンの同定 と動態解析 中務 明 (島根大学生物資源科学部)	3 トマトモザイクウイルス複製抑制宿主因子 Tm-1 の同定 石川 雅之 (農業生物資源研究所)	3 オオムギの多様性とゲノムリソース 佐藤和広 (岡山大学資源生物科学研究所・ 附属大麦/野生植物資源研究センター)
	4 転移性のサツマイモLTR型およびnon-LTR型レト ロトランスポゾン 田原 誠 (岡山大学農学部)	4 訪花昆虫の行動と花形質の多様性 大澤 良 (筑波大学大学院生命環境科学)	4 ミヤコグサ・ダイズリソースの整備 - ダイズ育種 研究への貢献 阿部 純(北海道大学農学部農学研究科) 明石 良(宮崎大学農学部生物環境科学科)
	5 コムギ連植物における新規のトランスポゾン様遺 伝子Revolverの分布と多様性 富田 因則 (鳥取大学農学部)	5 宿主抵抗性と病原体ビルレンスの共進化 佐々木 顕 (九州大学大学院理学研究院)	5 アブラナ科作物育種に貢献する基盤整備 小林正智 (理化学研究所 (BRC))
	総合討論	6 寄生者の配列進化と構造進化 岸野 洋久 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	6 日本から花開くアサガオリソースの現状と将来 仁田坂英二 (九州大学大学院理学研究院)
		7 植物ゲノムと寄生配列の相互作用 貴島 祐治 (北海道大学大学院農学研究院)	7 広義キク属植物におけるバイオリソースの整備に ついて 近藤勝彦 (広島大学大学院理学研究科 付属植物遺伝子保管実験施設)
			総合討論 座長 石本政男 (北海道農業研究センター・ 低温耐性研究チーム)
18:00	懇親会 (大学会館1階)		

二日目 (9月23日) 午前

9月23日	第1会場 (グリーンホール)	第2会場 (講11)	第3会場 (講21)
	◆座長 加藤 鎌司 (岡山大学)	◆座長 犬飼 剛 (北海道大学)	◆座長 鈴木 温 (遺伝研)
9:00	110 ○服部洋子1・芦苅基行2・松岡信2・服部一三1 (1. 名大院生命工学、2. 名大生物機能) イネ温度感受性葉緑素変異体の原因遺伝子の単離	210 齋藤利弥1・揚村京子1・波越啓太2・市田裕之3・林依子3・阿部知子3・西村実4・一谷勝之2・久保山勉1 (1. 茨城大農、2. 鹿児島大、3. 理研仁科センター、4. 生物研) イネ雑種弱勢原因遺伝子Hwc2の高密度連鎖解析と弱勢抑制変異体の染色体欠領域について	310 ○堀端章1・松井和幸1・井上悦子2・吉廣卓哉3・川路英哉4・中川優3・奥本裕5・中崎鉄也5・谷坂隆俊5 (1. 近大生物理工、2. 和歌山大学院システム工学、3. 和歌山システム工学、4. NTTソフトウェア(株)、5. 京大院農) イネの活性型内生トランスポゾンmPingによって誘発された量的形質関連変異のトランスポゾンディスプレイ
9:15	111 ○築山拓司、Kosonh Xayphakatsa、奥本裕、中崎鉄也、谷坂隆俊 (京大院農) Oryza属におけるPR-3キチナーゼ遺伝子族の分布	211 ○波越啓太1・田浦信2・佐藤宗治1・揚村京子3・久保山勉3・一谷勝之1 (1. 鹿児島大農、2. 鹿児島大遺伝子実験施設、3. 茨城大農) イネ雑種弱勢原因遺伝子Hwc1の高密度連鎖解析および候補遺伝子	311 ○宇賀優作1・奥野員敏2 (1. 生物研、2. 筑波大) 陸稲と水稲由来のF2集団で見出された根維管束の形態変異に関するQTL
9:30	112 ○小西左江子1・井澤毅2・林少揚3・江花薫子2・福田善通4・佐々木卓治2・矢野昌弘2 (1. 農林水産先端研、2. 生物研、3. ホンダ、4. 国際農林水産研) イネの栽培化過程で脱粒性の喪失の原因となったSNPの同定	212 ○岩田夏子・藤井壮太・鳥山欽哉 (東北大院農) イネId型細胞質雄性不稔性に対する稔性回復遺伝子Rf2のマッピング	312 ○ダグ H.D.1・藤村達人2 (1. 筑波大院生命環境、2. 筑波大院国際地縁) 水ストレス下におけるテフ(Eragrostis tef)種子根長の伸長を制御するQTLの同定
9:45	113 ○片桐敏・佐治章子・細川聡美・唐澤渉・吉原里枝・神谷梢・山形晴美・伊藤幸代・柴田未知恵・山本麻裕・菊田有里・栗田加奈子・備藤毅人・金森裕之・並木信和・呉健忠・佐々木卓治・松本隆 (生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネ栽培品種間における病害抵抗性遺伝子クラスター領域の構造比較	213 ○今井克則1・千葉あや乃1・千葉悠貴1・高年禮逸朗2・村井正之3・千田峰生4・赤田辰治4・原田竹雄1・石川隆二1 (1. 弘大農学生命、2. 北大院農、3. 高知大農、4. 弘大遺伝子実験施設) イネ枝梗彎曲-1遺伝子,Ur1の分子選抜マーカーの特定	313 ○権藤崇裕1・橋口正嗣1・磯部祥子2・奥村健治2・佐藤修正3・笹本茂美3・加藤友彦3・田畑哲之3・明石良1 (1. 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、2. 北海道農業研究センター、3. かずさDNA研究所) ミヤコグサにおける莢および種子形質のQTL解析
10:00	114 ○佐野幸恵1,3, 金森裕之2, 並木信和2, 山崎由起子1,3, 宮林登志江3, 倉田のり1,3 (1. 総研大生命科学、2. STAFF研、3. 遺伝研) 野生イネOryza punctataおよびOryza officinalis由来ESTの比較解析	214 ○寺島竹彦1・福岡修一2・坂紀邦1・工藤悟1 (1. 愛知農総試山間、2. 生物研) 雲南由来日本型イネ系統「中部111号」のいもち病圃場抵抗性について(第3報)いもち病圃場抵抗性遺伝子Pi39(t)のマッピング	314 ○伊勢村武久, 加賀秋人, 友岡憲彦, 黒田洋輔, Duncan A. Vaughan (生物研) アズキ栽培種と野生種との雑種集団を用いた栽培化および適応度関連形質のQTL解析
10:15	◆座長 矢野 昌裕 (生物研)	◆座長 鳥山 欽哉 (東北大院農)	◆座長 宇賀 優作 (生物研)
10:15	115 ○有岡輝明・山下裕樹・田原誠(岡大自然科学) サツマイモに見出された転移因子様配列MEIPの解析	215 ○秋山征夫1・Shalindra Goel2・Wayne W. Hanna3・Peggy Ozias-Akins4 (1. 阪大CASI、2. Gen. et Devel., IRD、3. Crop and Soil Sci., Univ. Georgia、4. Dpt. Hort., Univ. Georgia) アボミクス草Pennisetum squamulatumにおけるアボミクス特異的染色体の分子細胞学的特徴	315 ○竹久紀奈子1, 阿部知子2, 林依子2, 神波千秋1, 齋藤宏之2, 市田裕之2, 小沼亮子3, 龍頭啓充2, 福西輔尚2, 宮沢豊1, 東海林英夫, 保倉明子3, 福田直樹3, 中井泉3, 佐藤雅志1 (1. 東北大院生命科学、2. 理研仁科センター、3. 東京理科大学) 重イオンビーム照射による塩害水田耐性イネ突然変異系統の作出
10:30	116 ○大木信彦・奥本裕・築山拓司・内藤健・中崎鉄也・谷坂隆俊 (京大院農) 日本晴および野生イネゲノムに存在するPyong様因子の同定	216 ○内藤健・奥本裕・門田有希・中崎鉄也・谷坂隆俊(京大院農学) イネ品種銀坊主におけるmPingの急激な増殖を引き起こした原因の究明に向けて	316 ○千葉悠貴1・石川隆二1・今井克則1・千葉あや乃1・高年禮逸朗2 (1. 弘大農生、2. 北大院農) 赤毛自殖後代で生じた新規突然変異体の遺伝解析
10:45	117 ○Shanta Karki, Ken Naito, Yukata Okumoto, Takuji Tsukiyama, Tetsuya Nakazaki and Takatoshi Tanisaka (Grad. Sch. Agri., Kyoto U.) Different forms of mPing MITE in wild Oryza species	217 ○犬飼 剛1・M. Isabel Vales2・堀 清純3・佐藤和広3・Patrick M. Hayes2 (1. 北大院農、2. オレゴン州立大、3. 岡山大資生研) オオムギのいもち病抵抗性遺伝子RMo1はうどんこ病抵抗性遺伝子Mlaを含むR geneクラスター近傍に存在する	317 ○本間照久1・波多野佑一1・千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・石川隆二1 (1. 弘大農生、2. 弘大遺伝子実験施設) 日印交雑で生じた易変異系統の特性解析: クロリナ変異とキメラ制御遺伝子の解析
11:00	118 ○大村泰之1・石井 誠2・西田英隆1・明石由香利1・加藤鎌司1・武田和義2 (1. 岡山大学、2. 岡大資生研) 栽培オオムギにおける春播性遺伝子Vrn-H1の構造変異	218 講演取り消し	318 ○石川隆二1・千葉悠貴1・川崎頭子1・今井克則1・小林伸哉2・福田善通3 (1. 弘大農生、2. IRR1, 3. 独立行政法人国際農林水産業研究センター) インド型品種, IR24派生系統から得られた易変異系統の解析: 根の異常性を呈する新規変異体
11:15	ポスター (偶数番号) 11:15-12:15 (大学会館2階)		

第4会場 (講24)	第5会場 (講35)	第6会場 (講45)	9月23日
<p>◆座長 古藤田 信博 (果樹研盛岡)</p> <p>410 ○松平洋明・久保友彦・三上哲夫(北大院農) テンサイの細胞質雄性不稔性で発現変動する核遺伝子のスクリーニング</p> <p>411 ○北崎一義, 松平洋明, 山本将之, 久保友彦, 三上哲夫(北海道大学大学院農学院) テンサイS型細胞質雄性不稔株固有タンパク質PRESATP6の検性回復株における挙動</p> <p>412 ○久保友彦, 濱口祐子, 亀井陽子, 三上哲夫(北大院農) テンサイ検性回復遺伝子の他植物種におけるカウンターパートの解析</p> <p>413 ○角井宏行・佐々英徳2・平野久3・木庭卓人2 (1. 千葉大院自然科学, 2. 千葉大園芸, 3. 横浜市大院国際総合科学) ニホンナシの花粉で発現するSハプロタイプ特異的F-box遺伝子群</p> <p>414 ○Kim, H.T.1・角井宏行2・佐々英徳1・木庭卓人1 (1. 千葉大園芸, 2. 千葉大院自然科学) ニホンナシ品種「巾着」, 「大原紅」, 「若光」, 「なつひかり」のS遺伝子型決定と新規S-RNaseの同定</p>	<p>◆座長 藤田 雅也 (作物研)</p> <p>510 西澤けいと1・植木英雄2・寺石政義3・喜多見子1・黒田昌治4・與座宏一5・大坪研一5・東後晶子4・伊藤健二6・水谷信夫4・山口卓宏4・守屋成一4・石本政男1 (1. 北農研, 2. 近農研, 3. 京都大農, 4. 中央農研, 5. 食総研, 6. 農環研) システインプロテアーゼインヒビターの導入による子実害虫抵抗性ダイズ作出の試み</p> <p>511 ○岡本和之1, 石川友子1, 岡野克紀1, 眞部徹1, 石井卓朗2, 平山正賢1, 平澤秀雄1 (1. 茨城農総セ生物工学研究所, 2. 農研機構 作物研究所) 陸稲関東籾172号および高速餅硬化性を有する水稻系統のブレンド特性について</p> <p>512 ○Monika Garg1, Hiroyuki Tanaka2 and Hisashi Tsujimoto2 (1. Uni. Grad. Sch. Agr. Sci., Tottori U., 2. Fac. Agr., Tottori U.) Negative effect of chromosome 1A on bread making quality shown by modification of 1D addition in durum wheat (Triticum durum)</p> <p>513 ○山口 修1,2・塚崎守啓1・内村要介1・古庄雅彦1 (1. 福岡農総試, 2. 現中央農研) DNAマーカーを利用したコムギ半数体におけるグルテニンサブユニットの分類</p> <p>514 ○谷中美貴子1・高田兼則1・中司祐典2・木村晃司2・池田達哉1・石川直幸1 (1. 近中四農研, 2. 山口県農試) 栽培条件がコムギのポリマータンパク質のサイズ構成に及ぼす影響</p>	<p>◆座長 野々村 賢一 (遺伝研)</p> <p>610 ○笹沼恒男1, 寺沢洋平1, 河原太八2, 笹限哲夫1 (1. 横浜市大木原生研, 2. 京大院農学) アフガニスタン在来品種コムギのコアコレクションの作成</p> <p>611 ○田中裕之1・Craig F. Morris2・春名美香1・辻本壽1 (1. 鳥取大農, 2. USDA-ARS) アジアのパンコムギにおけるピュロインドリンの多様性</p> <p>612 ○今井雄大・河原太八(京大院農学) タルホコムギ(Aegilops tauschii)における葉緑体DNAの変異</p> <p>613 ○宅見薫雄1・藤原健祐1・小林史典1・村井耕二2・松岡由浩2 (1. 神戸大農, 2. 福井県大生物資源) Vrn-1遺伝子座の構造多型からみたタルホコムギの種内分化</p> <p>614 ○山際宏昭1, 笹沼恒男1, 河原太八2, 笹限哲夫1 (1. 横浜市大木原生研 2. 京大院農学) USゲノムを持つエギロプス四倍性種Sゲノムの系統解析</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p>
<p>◆座長 久保 友彦 (北海道大院農)</p> <p>415 ○佐藤 洋1, 岡田 淳1, 山田哲也1,2, 石本政男2,3, 喜多洋一3, 若狭 映2,4, 喜多村啓介1 (1. 北大院・農, 2. CREST, 3. 北海道農業研究センター, 4. 東京農業大学・農) フェニルアラニンを蓄積する形質転換ダイズの作出</p> <p>416 ○林麻衣1・加藤淳太郎2・池田真由子3・三柴啓一郎4・野上達也5・三位正洋1 (1. 千葉大院自然科学, 2. 愛教大生物, 3. 名大院生命科学, 4. 大阪府大院生命環境, 5. 石川県白山自然保護セ) Primula jesoana(オオサクラソウ)で見いだされた過剰染色体の遺伝性</p> <p>417 ○宮下千枝子1・石川駿二2・平田豊2・三位正洋3 (1. 東京農総研, 2. 東京農工大農, 3. 千葉大園芸) 5倍体ブルーベリーの倍数性キメラにおける細胞層構成の解析</p> <p>418 ○皆川明穂・高原美規(長岡技科大工) アグロバクテリウムを用いたローマンカモミール(Anthemis nobilis)の形質転換法の確立</p>	<p>◆座長 荻野 暁子 (野菜茶業研)</p> <p>515 ○関昌子・松中仁・藤田雅也・一ノ瀬晴則・小前幸三(作物研) 低アラビノキシラン小麦品種「農大16」の後代系統の製粉性</p> <p>516 ○高田兼則・谷中美貴子・石川直幸(近中四農研) 軟質コムギにおける子実硬さと小麦粉粒度の遺伝率</p> <p>517 ○藤田雅也1・関昌子1・松中仁1・橋渡亜土2・北野順一3・神田幸英3・宮本啓一3・奥本裕4 (1. 独農研機構・作物研究所, 2. 東洋水産(株), 3. 三重県科学技術振興センター農業研究部, 4. 京大院農) 国産硬質小麦品種等を用いた中華麵適性と小麦粉特性との関係</p> <p>518 ○金子成延1・鈴木雅博2・渡邊好昭3 (1. 作物研, 2. 東北農研, 3. 中央農研) 小麦出穂期窒素追肥による小麦粉タンパク質含量, 金属含量, 色相変動の関係</p>	<p>◆座長 宅見 薫雄 (神戸大農)</p> <p>615 ○高橋弘子・齋藤美和子・中村郁郎(千葉大院自然科学) オオムギ属とコムギ属間の交雑種形成の直接的証拠</p> <p>616 ○竹内一成・福山利範(新潟大農) 北陸・東北地域におけるオオムギ雲形病菌の病原性およびDNA変異</p> <p>617 ○小垣内裕子1, 岩崎理恵1, Javad Mozafari2, ○大田正次1 (1. 福井県大生物資源, 2. イラン国立植物ジーンバンク) イランの栽培, 雑草および野生ライムギ集団におけるB染色体の形態と頻度</p> <p>618 ○赤坂真由美・山口裕文(大阪府大生命環境科学) 野生および栽培タイムヒエのマイクロサテライト多型</p>	<p>10:15</p> <p>10:30</p> <p>10:45</p> <p>11:00</p>
<p>ポスター (偶数番号) 11:15-12:15 (大学会館2階)</p>			<p>11:15</p>

二日目 (9月23日) 午後

9月23日	第1会場 (グリーンホール)	第2会場 (講11)	第3会場 (講21)
13:00	<p>◆座長 萩原 保成 (横浜市大木原生研)</p> <p>119 ○天野里子1・栗山貴也1・最相大輔2・佐藤和広2・武田和義2・川崎信二3・松本 隆3・武田 真1(1.香川大農, 2.岡大資生研, 3.生物研) オオムギ皮裸性遺伝子座を包含するBACコンテイングの構築</p>	<p>◆座長 石井 卓朗 (作物研)</p> <p>219 ○浅海英記1・玉置学2(1.愛媛県農業試験場, 2.愛媛県西条農政普及課) サトイモ新品種「愛媛農試V2号」の育成</p>	<p>◆座長 石川 隆二 (弘前大農学生命)</p> <p>319 ○鄭 凡喜1・房 相佑1・新倉聡2・金子幸雄1・松澤康男1(1.宇都宮大農, 2.(株)トーホク) Diplotaxis属と Brassica rapa および B. oleracea 近交系との属間交雑親和性と雑種後代の作出</p>
13:15	<p>120 ○安本景太・寺地 徹・山岸 博 (京都産大工) 野生ダイコンにおけるオグラ型雄性不稔に対する稔性回復遺伝子orf687の分布</p>	<p>220 ○伊藤博章(愛媛県農試) イチゴ新品種「あまおとめ(仮称)」の育成</p>	<p>320 ○赤羽美智子1・金子幸雄1・菊地豊和1・房 相佑1・津田麻衣2・田部井豊2・松澤康男1(1.宇都宮大学農学部, 2.生物研) 在来ナタネ類, ハボタンおよびカラシナとセイヨウナタネとの交雑親和性とF1およびBC1植物の特性</p>
13:30	<p>121 ○吉見麻衣子・富岡関子・吉田佳言・山岸博・寺地徹(京産大工) オグラ型雄性不稔に対するハツカダイコン稔性回復遺伝子座のゲノム構造と変異. II. PPRメンバー間のリアレンジメント</p>	<p>221 ○栗坂 信之・藤堂 太(愛媛県農試) ユリの新品種「レッドキャンドル」の育成</p>	<p>321 ○Chang Caitao, K. Kakahara and M. Kato(Fac. Agr. Ehime U.) Effective transfer of cytoplasmic male sterility from Brassica juncea to B. rapa</p>
13:45	<p>122 ○漆川直希1, 田平千香子1, 持田恵一2, 川浦香奈子3, 萩原保成3, 村井耕二1(1.福井県大生物資源, 2.理研, 3.横浜市大木原生研) 倍數性進化に伴って変化したコムギSEBALLATA-like遺伝子の解析</p>	<p>222 ○重宗明子1・三浦清之1・上原泰樹2・小林陽3・笹原英樹1・後藤明俊1・太田久稔2・清水博之4・福井清美5・小牧有三5・大槻寛1(1.中央農研北陸, 2.作物研, 3.土浦市在住, 4.北農研, 5.鹿児島県農試) 糖質米水稻新品種「あゆのひかり」の育成</p>	<p>322 ○手塚孝弘1・久保山勉1・松田智明1・丸橋亘2(1.茨城大農, 2.明治大農) Nicotiana tabacumとSuaveolentes節に属する9種の野生種との種間交雑における雑種致死の発現とその原因となる染色体</p>
14:00	<p>123 ○栗原志保1・中村信吾2(1.北海道農研, 2.作物研) コムギのR遺伝子座が穂発芽耐性と休眠関連遺伝子の発現に及ぼす影響</p>	<p>223 ○田村克徳1・梶亮太1・平林秀介2・溝淵律子3・岡本正弘1・八木忠之4・西村実3・坂井真1・深浦社一5・山下浩1・富松高治6(1.九州農研, 2.作物研, 3.生物研, 4.国際協力機構, 5.熊本農研, 6.協友アグリ) 極良食味の水稻新品種「きぬむすめ」の育成</p>	<p>◆座長 藤田 直子 (秋田県立大生資)</p> <p>323 ○鈴木温1・永口真1・佐藤光2・熊丸敏博2・長戸康郎3・倉田のり1, 4(1.遺伝研, 2.九大農, 3.東大農学生命科学, 4.総研大生命科学) イネ全遺伝子の突然変異検索法—高頻度変異系統群と簡易TILLING法の確立</p>
14:15	<p>◆座長 村井 耕二 (福井県大生物資源)</p> <p>124 ○佐伯明日香1, 川浦香奈子2, 増村威宏1, 森田重人1, 萩原保成2(1.京都府大農, 2.横浜市大・木原生研) 核・細胞質雑種コムギに存在する異種ミトコンドリア遺伝子の発現様式</p>	<p>◆座長 西尾 剛 (東北大院農)</p> <p>224 ○岡安浩次1・服部玄1・奥西藤2・平田豊2(1.農工大・院・連大, 2.農工大・院・国際環境農学) アブラナ科属間キメラに由来するアントシアニン変異系統の確立</p>	<p>324 ○大関美香1・長嶺敬1・池田達哉2・鈴木保宏3・関和孝博1, 4・山口恵美子1, 5・加藤常夫1(1.栃木農試, 2.近中四農研, 3.作物研, 4.栃木農環セ, 5.下都賀農振) ビール大麦のリボキシゲナーゼ活性の品種間差異と新規lox-1欠失突然変異の作出</p>
14:30	<p>125 ○持田恵一1・川浦香奈子2・萩原保成2 1.理研PSC, 2.横浜市立大学・木原生研) コムギ全ESTのクラスタリング</p>	<p>225 ○千葉文弥1・我妻謙介1・佐々木都彦1・遠藤貴司2・永野邦明1(1.宮城県古川農試, 2.東北農研) イネ第7染色体上の穂ばらみ耐性関連QTLの準同質遺伝子系統作出の試み</p>	<p>325 ○泉館聡・阿部利徳(山形大農) エダメメ用ダイズ品種、白山ダダチャへのγ線照射による大粒種子系統の選抜</p>
14:45	<p>126 ○川浦香奈子1・持田恵一2・Nabila Yahiaoui3・Beat Keller3・新井理4・小原雄治4・萩原保成1(1.横浜市大・木原生研, 2.理研PSC, 3.University of Zurich, 4.遺伝研) 赤さび病を接種したパンコムギの準同質遺伝子系統におけるトランスクリプトームの比較解析</p>	<p>226 ○石井卓朗1・米澤勝衛2(1.作物研, 2.京都産大工) マーカー選抜を用いて有用遺伝子を単一の遺伝子型に集積するための効率的な作業手順—倍加半数体法が使えないときの方策</p>	<p>326 ○阿部利徳・鎌田久子・菊池ちあき(山形大農) ソマクローナル変異によるイネ品種ササニシキより糯および低アミロース変異の誘導</p>
15:00	<p>127 講演取り消し</p>	<p>227 ○森 一幸・田宮誠司(長崎県総合農林試験場) パレイシヨ塊茎を用いた病虫害抵抗性マーカー検定用DNA簡易抽出法の開発</p>	<p>327 ○Nasrin Nayar・菊池ちあき・阿部利徳(山形大農) ソマクローナル変異により誘導したササニシキの糯および低アミロース系統における胚乳タンパク質の電気泳動特性</p>
15:15	<p>◆座長 吉田 均 (中央農研)</p> <p>128 ○堀川明彦1, 川浦香奈子2, 萩原保成2, 寺地徹1(1.京産大工, 2.横浜市大木原生研) コムギ22Kマイクロアレイを用いたAegilops mutica細胞質置換コムギにおけるミトコンドリアレトログレード制御の解析</p>	<p>◆座長 金澤 章 (北海道大院農)</p> <p>228 ○羽鹿牧太1・喜多村啓介2・高橋浩司1・平賀勲1(1.作物研, 2.北大院農) 大豆種子リボキシゲナーゼ欠失判別DNAマーカーの開発</p>	<p>◆座長 辻本 壽 (鳥取大農)</p> <p>328 ○廣瀬咲子1・高木英典1・若佐雄也1・渡邊朋也2・平井一男3・服部誠1・立石剣1・高岩文雄1(1.生物研, 2.中央農研センター, 3.農環研) スギ花粉症緩和米の隔離ほ場栽培における生物多様性影響評価—昆虫に対する影響—</p>

二日目 (9月23日) 午後

第4会場 (講24)	第5会場 (講35)	第6会場 (講45)	9月23日
<p>◆座長 石本 政男 (北海道農研)</p> <p>419 田平千香子¹・漆川直希¹・阿部知子²・阪本浩一²・斎藤宏之²・龍頭啓充²・福西暢尚²・○村井耕二¹(1.福井県大生物資源、2.理研仁科センター) イオンビームによる一粒系コムギ突然変異体 fushi-darake の表現型および遺伝解析</p> <p>420 ○掛田克行¹・花井陽介²・粟生賢一¹・神山康夫¹(1.三重大生物資源、2.京大院農) オオムギ野生種におけるSハプロタイプ特異的な配列多型性を示す雌ずいcDNAの解析</p> <p>421 ○白澤彰¹・五十川祥代²・菊田利奈³・高田美信¹・小松聡³・柿崎智博³・鈴木剛⁴・堀崎敦史⁵・新倉聡⁵・柴博史⁶・磯貝彰⁶・高山誠司⁶・渡辺正夫^{1,7}(1.東北大院生命、2.東北大理、3.岩手大農、4.大阪教育大教育、5.(株)トーホク、6.奈良先端大バイオ、7.岩手大21世紀COE) Brassica rapa 栽培品種群からの自家和合性系統の探索</p> <p>422 ○岡本俊介¹・小田島雅²・西尾剛¹(1.東北大院農、2.岩手県農研セ) アブラナ科異質倍数体種の自家和合性</p> <p>423 ○古藤田信博¹・鈴木基子¹・耳田直純¹・木藤新一郎²・伊ヶ崎知弘³・西口満³・岩波宏¹・高橋佐栄¹・森谷茂樹¹・阿部和幸¹(1.農研機構果樹研(盛岡)、2.岩手大学農学部、3.森林総合研究所) リンゴMdFT(Malus x domestica FT)およびMdSOC1(Malus x domestica SOC1)遺伝子の機能解析</p>	<p>◆座長 山口 修 (中央農研北陸研)</p> <p>519 ○池田達哉、谷中美貴子、高田兼則(近中四農研) 生地物性を強めるコムギのグルテン・サブユニットの解析</p> <p>520 ○木原 誠¹・岡田吉弘^{1,2}・伊藤一敏¹(1.サッポロビールバイオリソース研、2.現:九州沖縄農研) 大麦の発芽種子中におけるGABAおよびβ-グルカン含有量の遺伝的変異</p> <p>521 ○西 愛子¹・佐藤 光¹・田崎三香子¹・豊澤佳子¹・内海好規²・中村保典²(1.九大農、2.秋田県立大生物資源科学) イネのsugary2変異の遺伝解析およびsug2変異澱粉の特性</p> <p>522 ○前田節子¹・新村洋人²・中川公大²・浅井辰夫¹・森田明雄¹(1.静大農、2.FANCL総合研究所) イネ着色遺伝子Rcの同質遺伝子系統と親系統を用いた抗酸化能の比較</p> <p>523 ○王 紹東・金丸 京平・Maria S.Dwiyanti・阿部純 喜多村 啓介(北大院農学) 高機能性ダイズの育成に向けた遺伝資源学研究(1) α-トコフェロールとルテインを同時に集積する可能性</p>	<p>◆座長 笹沼 恒男 (横浜市大木原生研)</p> <p>619 ○福永健二^{1,2}・谷勝之³・河瀬眞琴⁴(1.日文研、2.現・地球研、3.鹿大農、4.生物研) rDNA IGSサブリピートの塩基配列多型解析からみたアワの系統分化</p> <p>620 ○霍田真一¹・坂本ふみ子¹・橋口正嗣¹・權藤崇裕¹・山本俊哉²・明石良¹(1.宮崎大、2.果樹研) Zoysia属における葉緑体ゲノム由来SSRの変異</p> <p>621 ○村松幹夫 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究. XXI. 害虫の一種 - タケノホソクロバ(Artona funeralis Butler, 鱗翅目、マダラガ科) - の発生被害におけるタケ連植物の種属間差異.</p> <p>622 ○黒田洋輔・加賀秋人・友岡憲彦・Duncan Vaughan (生物研) ダイズとツルマメの自然交雑集団の発見とそのモニタリング</p> <p>623 ○小林祥子¹・本城正憲²・大澤良¹(1.筑波大院生命環境、2.東大院農学生命科学) 葉緑体DNA変異に基づくハナショウブ品種群の系統関係</p>	13:00
<p>◆座長 井澤 毅 (生物研)</p> <p>424 ○大森伸之介・木水真由美・内田英史・松村葉子・吉田均(中央農研・北陸研究センター) イネの花器官形成におけるOsMADS6・OsMADS17遺伝子の機能</p> <p>425 ○松原一樹¹・野々上慈徳³・小野望³・河野いずみ³・正村純彦³・水林達実³・堀清澄¹・山本伸一¹・竹内善信²・矢野昌裕¹(1.生物研、2.作物研、3.農林水産先端研) イネ日本型品種日本晴とコシヒカリのBILs育成と出穂期の遺伝解析</p> <p>426 ○星野次汪・村田旭・鎌田拓也・西政佳・佐川了(岩手大学農学部) 栽培ヒエ系統の日長・温度反応性</p>	<p>◆座長 池田 達哉 (近中四農研)</p> <p>524 ○喜多村啓介¹・羽鹿牧太²・松井健三³・島田和子⁴(1.北大院農学、2.作物研、3.山口大農、4.山口県大) 大豆リポキシゲナーゼ活性の品種および地域間差</p> <p>525 ○Jiang, Z. Y.¹・鈴木彩¹・高田吉文²・及川一也³・塚本知玄¹(1.岩手大農、2.東北農研、3.岩手農研) 大豆種子葉サポニン含量と組成に影響を与える要因</p> <p>526 ○緒方大輔¹・山田直弘²・寺石政義¹・矢ヶ崎和弘²・山田利昭¹(1.京大院農、2.長野県中農研) 登熟前期および後期の気温がダイズ種子のインフラボン含量に及ぼす影響</p>	<p>◆座長 山根 京子 (大阪府大生命環境科学)</p> <p>624 ○王寧・大澤良・太田賢・藤村達人(筑波大院生命環境科学) AFLPマーカーを利用した世界各地のダイコン遺伝資源の系統解析</p> <p>625 ○石橋篤志、尾崎昭子、山岸 博(京都産業大工) 日本のダイコンの起源と分化 XIV.葉緑体塩基配列の品種内変異</p> <p>626 ○山岸 博(京都産大工) 日本のダイコンの起源と分化.XV.結論</p>	14:00
<p>◆座長 松原 一樹 (生物研)</p> <p>427 ○佐々英徳¹、角井宏行²、宮本摩由³、平野久³、木庭卓人¹(1.千葉大園芸、2.千葉大院自然科学、3.横浜市大院国際総合科学) リンゴS遺伝子座の構造解析</p>	<p>◆座長 木原 誠 (サッポロビール)</p> <p>527 ○荻野院子¹・谷口郁也¹・田中淳一²(1.農研機構・野菜茶業研究所、2.農林水産省・農林水産技術会議事務局) チャ遺伝資源のポリフェノールプロファイルの網羅的解析</p>	<p>◆座長 藪谷 勤 (宮崎大農)</p> <p>627 ○律娜・大西近江(京大院農) 核遺伝子のPCR-RFLP多型からみたダイコンの起源</p>	14:15
<p>◆座長 松原 一樹 (生物研)</p> <p>428 ○嶋田早苗¹・北川哲¹・鈴木隆之¹・五十里千尋¹・漆川直希¹・血池辰徳¹・半田裕一²・村井耕二¹(1.福井県大生物資源、2.農業生物資源研) コムギ出穂性関連遺伝子WFTおよびWAP1の日周期発現変動パターン</p>	<p>528 ○外山潤¹・田中秀典¹・堀江亜紀子²・須永基男²・磯部弘²・山本耕造²・谷村真一³・佐田一浩³・谷口智美³・内山岳人⁴・明石良⁵(1.JSTサテライト宮崎、2.富士化学(株)、3.宮崎沖電気(株)、4.宮崎県警科捜研、5.宮崎大フロンティア科学) ウリ科植物における抗Hレクチン活性の比較</p>	<p>628 ○江頭宏昌・伊藤 望・山崎彩香・赤澤経也・小野寺弘道(山形大農) 山形県在来カブの形態および食味関連成分に関する系統間差異</p>	15:00
		<p>◆座長 藪谷 勤 (宮崎大農)</p> <p>628 ○江頭宏昌・伊藤 望・山崎彩香・赤澤経也・小野寺弘道(山形大農) 山形県在来カブの形態および食味関連成分に関する系統間差異</p>	15:15

二日目 (9月23日) 午後			
9月23日	第1会場 (グリーンホール)	第2会場 (講11)	第3会場 (講21)
15:30	129 ○高橋宏和1・渡邊亮介1・大津和弘3・西澤直子1,2・Patrick S. Schnable3・中国幹生1(1.東大院農学生命科学、2.CREST、3.Iowa State Univ) Laser Microdissectionを用いたトウモロコシの根の通気組織形成過程で発現する遺伝子の同定	229 鈴木隆夫1・○泉田敦1・塚崎光2・小野寺忠宣1、富田健一1、山下謙一郎2、若生忠幸2、小島昭夫2 (1.サカタのタネ、2.農研機構野菜茶研) DNAマーカーで標識したネギF1品種の開発	329 ○佐々木卓1・藤本 龍2・岸谷幸枝1・西尾 剛1(1.東北大院農、2.遺伝研) Brassica rapaにおけるddm1 RNAi形質転換体の作出とDDM1のメチル化ターゲットの解析
15:45	130 ○堀内 陽子1,2・春島 嘉章1,2・川喜田 雅則3・望月 孝子2・江口 真透3・倉田 のり2(1.情報・システム研究機構 新領域融合研究センター、2.情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 植物遺伝、3.情報・システム研究機構 統計数理研究所 数理・推論研究系) Affymetrix Rice Genome arrayを用いたイネ遺伝子発現量検出における塩基配列差の補正と適用	230 ○白澤健太1・前田寛明1・門奈理佐2・岸谷幸枝1・西尾 剛1 (1.東北大院農、2.植物ゲノムセンター) 日本型イネ品種の遺伝子領域における一塩基多型の頻度	330 ○林清音1, 辻村真衣2, 寺地徹1 (1.京産大工、2.奈良先端大バイオ) アスコルビン酸パーオキシダーゼ遺伝子(ox)を葉緑体に持つ組換えタバコの作出と特徴づけ
16:00	131 ○高橋飛鳥・池田達哉・石川直幸・谷中美貴子・高山敏之・柳澤貴司(近中四農研) 2次元電気泳動法により見出された大麦種子タンパク質ホルドインドリンの系統間の変異	◆座長 小西 佐江子(農林水産先端研) 231 ○間海芳1・雑賀啓明1・前川雅彦2・高半禮逸朗3・堤伸浩1・経塚淳子1・中国幹生1(1.東大院農学生命科学、2.岡大資生研、3.北大院農) Rice tillering dwarf mutant, dwarf3, shows delay of senescence of the coleoptile under darkness, but not under light conditions	331 ○橋本絢子, 寺地徹 (京産大工) ニンジン(Daucus carota L.)の色変異形質転換に関する基礎研究. 1. 色素体ゲノムの解析とベクター構築
16:15	132 132○田村佳奈子・大木信彦・築山拓司・奥本裕・中嶋鉄也・谷坂隆俊(京大院農)Rurm1 (Rice ubiquitin-related modifier-1) の機能喪失はmPingの転移を促す	232 ○三好健太郎1・辻寛之1,2・吉野洋周3・堤伸浩1・中国幹生1 (1.東大院農学生命科学、2.名大生物機能開発利用センター、3・日立・中研) イネにおけるストレス応答性ヒストン脱アセチル化酵素遺伝子の機能解析	332 ○五十鈴川寛司1・松井恭子2・高木優2・西村幸一1(1.山形農総研生産技術 2.産総研) CRES-T法(chimeric repressor silencing technology)によるトルコギキョウ花器形質の改良
16:30	◆座長 中崎 鉄也(京大院農) 133 ○古堅宗太郎 1,2, 庄子和博1, 篠崎岡2, 吉原利一1, 後藤文之1 (1.電力中央研・環境科学、2.東京電機大物質工学) アラビドプシスにおけるフェリチン遺伝子ファミリーの発現解析	233 ○永松敦1・吉野道子1・堤賢一2・金澤章1(1.北大院農、2.岩手大農・寒冷バイオシステム研究センター) ダイズβ-コングリシニンαサブユニット遺伝子の種子特異的転写制御にはRY配列が関与する	◆座長 寺地 徹 (京都産業大工) 333 ○若松快朗, 藤本優, 中国幹生, 有村慎一, 堤伸浩 (東大院農学生命科学) 高等植物におけるミトコンドリアゲノム形質転換系の構築. 1. 巨大化ミトコンドリアをもつタバコ培養細胞の作製と選抜条件の検討
16:45	134 ○後藤文之1, 榎本裕介1,2, 程島裕貴1,2, 庄子和博1, 島田浩章2, 吉原利一1 (1.電力中央研・バイオ領域、2.東京理科大・生物工) 根における鉄欠乏応答遺伝子は長距離シグナルによって誘導される	◆座長 堤 伸浩 (東京大院農学生命) 234 ○山岸真澄1・増田税1・鈴木匠2・根津修2・大崎満1(1.北大農学研究院, 2.東大新領域創成科学研究科) ラッカセイわい化ウイルスを用いた白花ルーベンのRNAi	334 ○平田 豊・鈴木克彰・宮沢裕章・片野匠・榎谷奏二(農工大・院・国際) トウガラシにおける接木変異のメカニズム
17:00	135 ○吉田均1・Kevin L.-C. Wang2・Chia-Man Chang2・森浩一1・内田英史1・Joseph R. Ecker3(1.中央農研、2. Academia Sinica、3. Salk Inst.) ACC合成酵素のTOE配列はETO1およびプロテアソーム依存的タンパク質分解シグナルとして機能する	235 ○太田垣盛吾・増田税・金澤章(北大・院・農) RNA-directed DNA methylationのトリガーとなるプロモーター領域の長さは外來性遺伝子の効率的な転写不活性化誘導に影響を与える	335 ○宮角裕喜1・森真理2・吉田薫3・清水顕史1・長谷川博1(1. 滋賀県立大環境科学、2. 滋賀県農技振C、3. 東大院農学生命科学) イネのフィチン酸合成関連遺伝子を導入したヨシの特性
17:15	136 ○秋田祐介1・落合利紀2・菅野明1(1.東北大院生命、2.広島大院理) 八重咲きユリ品種「アフロディーテ」におけるMADS-box遺伝子群の発現解析	236 ○Haque, N.A.K.M.1, Y. Tanaka 2, S. Sonoda 3 and M. Nishiguchi 1 (1. Fac. Agr., Ehime U., 2. Wakasa-wan Ener. Cen., 3. Res. Inst. Bioresour., Okayama U.) Analysis of transitivity of RNA silencing by grafting using transgenic Nicotiana benthamiana with the coat protein gene of Sweet potato feathery mottle virus	
9月23日	第1会場 (グリーンホール)	第2会場 (講11)	第3会場 (講21)
18:00	グループ研究会1 遺伝資源海外学術調査の現状と課題 世話人：佐藤雅志 (東北大学大学院生命科学研究所) 加藤謙司 (岡山大学農学部) 大田正次 (福井県立大学生物資源学部) 「バンコムギの出現： 種間交雑と非還元配偶子形成」 松岡由浩 (福井県立大学生物資源学部) 「現地機関との協力体制によるカンボジアのイネ遺伝資源の評価」 石川隆二 (弘前大学農学生命科学部)	グループ研究会2 育種学と農学のこれからを考える14 世話人：吉岡洋輔 (筑波大学大学院生命環境科学) 宇賀優作 (農業生物資源研究所ジーンバンク) 「ダイズゲノム研究の現状と今後の動向」 原田久也 (千葉大学園芸)	グループ研究会3 情報は有効に活用すべし - Breeding Informatics研究 II - 世話人：矢野健太郎 (かずさDNA研) 岩田洋佳 (中央農研) 「現場で役立つゲノム情報とは何か？」 伊藤剛 (生物研) 「パソコンを使った研究支援 AFLPによる遺伝解析・発現遺伝子解析の場合」 清水顕史 (滋賀県大環境科学)

二日目 (9月23日) 午後

第4会場 (講24)	第5会場 (講35)	第6会場 (講45)	9月23日
429 ○井澤 毅・Meenu Gupta・矢野昌裕(生物研) イネ概日時計突然変異体の同定と解析	529 ○田中秀典1・外山潤1・堀江亜紀子2・須永基男2・磯部弘2・山本耕造2・谷村真一3・佐田一浩3・谷口智美3・内山岳人4・明石良5(1.JSTサテライト宮崎、2.富士化学(株)、3.宮崎沖電気(株)、4.宮崎県警科捜研、5.宮崎大フロンティア科学) ゴーヤ種子由来抗Hレクチンの精製とその生化学的特性	629 ○木村衣里・山根京子・山口裕文(大阪府立大学生命環境科学) 葉緑体塩基配列情報に基づくワサビの分子系統学的位置付け	15:30
430 ○石川亮1、篠村知子2、高野誠3、島本功1(1.奈良先端大・バイオ、2.日立製作所・中央研究所、3. 生物研) イネの開花におけるフィトクロムの作用	◆座長 下田 聡 (種苗管理センター) 530 ○新井美耶子・小林喜和・本田洋・大澤良(筑波大院生命環境) アブラナ科植物における花香成分の風間および種間変異の定性的評価	630 ○山根京子(大阪府立大学生命環境科学) ワサビの遺伝資源探索 1. ワサビの自生地調査	15:45
431 ○高橋靖幸・石川亮・横井修司・島本功(奈良先端大・バイオ) イネコアコレクションを用いた開花関連遺伝子の多様性の解明	531 ○田中篤1・小沼明弘2・堀崎敦史3・新倉聡3・大澤良1 (1.筑波大院生命環境、2.農環研、3.(株)トーホク) アブラナ科野菜F1採種における両親系統の開花同調性がF1純度に及ぼす影響	631 ○北浦健生・河田隆弘・高田千恵・北宜裕(神奈川県農業技術センター) のらぼう菜の収量に関する系統間差異	16:00
432 ○北川哲、嶋田早苗、鈴木隆之、五十里千尋、漆川直希、山田翠織、血池辰徳、村井耕二(福井県大生物資源) シロイヌナズナ花成関連遺伝子CONSTANSのコムギにおける相同遺伝子WCO1の同定と発現解析	532 ○小林喜和1・堀崎敦史2・新倉聡2・大澤良1(1.筑波大院生命環境、2.株)トーホク) ダイコンにおける花器形態の違いは受粉効率に影響を及ぼすのか?	◆座長 江頭 宏昌 (山形大農) 632 ○泉川康博1・中村郁郎1・三位正洋2(1.千葉大院自然科学、2.千葉大園芸) フローサイトメトリー分析を用いたカラコンコエ(Kalanchoe)属植物のDNA含量の分類指標としての評価	16:15
◆座長 掛田 克行 (三重大生物資源) 433 ○小見創介・小林哲郎・森山史英・穴戸理恵子・野村和成・池橋宏(日大生物資源) 日印交雑F1ハイブリッド・イネの強感光性発現に関与する遺伝子座の分析	◆座長 大澤 良 (筑波大院生命環境) 533 ○天野克紀1・川島茂人2・杜明遠2・芝池博幸2・松尾和人2・三澤孝1・伴義之1・岡三徳2(1.種苗管理セ、2.農環研) 防風ネットによるトウモロコシの花粉飛散と交雑の抑制作用(第2報)	633 藪谷勤1・○井上公一2・吉原法子2(1.宮崎大農、2.鹿児島建大) キリガミネヒオウギアヤメ(Iris setosa var. hondoensis)およびナスヒオウギアヤメ(I. setosa var. nasuensis)はヒオウギアヤメ(I. setosa)とカキツバタ(I. laevigata)の種間雑種である	16:30
434 ○佐藤豊1・川勝泰二1・伊藤純一1・小嶋美紀子2・榎原均2・草場信1・長戸康郎1(1.東大院農学生命科学、2.理研) イネの葉間期制御について	534 ○下田聡1・芝池博幸2・川島茂人2・三澤孝1・伴義之1・岡三徳2(1.種苗管理セ、2.農環研) トウモロコシ花粉の長距離飛散と交雑に関する研究(第4報)	634 ○田中克典1・明石由香利2,3・May Thinn Khaing4・西田英隆2・加藤謙司2 (1.総合地球環境学研究所、2.岡山大農、3.(株)三共種子、4.VFRDC,ミャンマー) メロンにおいて父性遺伝するミトコンドリアゲノムマーカーの開発	16:45
435 ○富本洋平・平田豊(農工大院・国際) ミツバにおける環境条件により誘導されたアントシアニン発現変異メカニズム	535 ○田中美佳、近江戸伸子(神戸大総合人間科学) タバコならびにイネ培養細胞のカプセル化による効果的な凍結保存法		17:00
436 ○泉雅之1・大橋芳1・網島沙織1・周金妹1・平田豊1(1.農工大・院・国際環境農学) カンキツ種間キメラにおける細胞・組織間相互作用			17:15

第4会場 (講24)	第5会場 (講35)
グループ研究集会4 特定領域研究「植物の生殖過程におけるゲノム障壁」 世話人：倉田のり (遺伝研) 渡辺正夫 (東北大学) 「平成18年度特定領域研究発足案内」 倉田のり (遺伝研) 「イネ細胞質雄性不稔に見られる核とミトコンドリアのゲノム障壁」 鳥山欽哉 (東北大学) 「生殖過程におけるジベレリン生合成と信号伝達に関する分子遺伝学的解析」 松岡 信 (名古屋大学) 「受粉反応時に「ゲノム障壁」を誘起する花粉・柱頭因子の分子遺伝学的解析」 渡辺正夫 (東北大学)	グループ研究集会5 作物種子研究の最前線II 世話人：吉田元信 (近畿大農) 田畑哲之 (かずさDNA研) 山田恭司 (富山大院理工) 「イネ種子貯蔵タンパク質グルテリンのプロテインボディへの輸送・蓄積に関与する遺伝的集積機構」 熊丸敏博 (九州大院農)

講演番号・座長一覧

	第1会場 グリーンホール	第2会場 講11	第3会場 講21	第4会場 講24	第5会場 講35	第6会場 講45
22日午前	101-105 加藤 明 9:00-10:15	201-205 久保山勉 9:00-10:15	301-305 高牟礼逸朗 9:00-10:15	401-405 木庭卓人 9:00-10:15	501-505 船附秀行 9:00-10:15	601-605 平田 豊 9:00-10:15
	106-109 金勝一樹 10:15-11:15	206-209 森川利信 10:15-11:15	306-309 岩田洋佳 10:15-11:15	406-409 伊藤幸博 10:15-11:15	506-509 福岡修一 10:15-11:15	606-609 中村郁郎 10:15-11:15
23日午前	110-114 加藤鎌司 9:00-10:15	210-214 犬飼 剛 9:00-10:15	310-314 鈴木 温 9:00-10:15	410-414 古藤田信博 9:00-10:15	510-514 藤田雅也 9:00-10:15	610-614 野々村賢一 9:00-10:15
	115-118 矢野昌裕 10:15-11:15	215-218 鳥山欽也 10:15-11:15	315-318 宇賀優作 10:15-11:15	415-418 久保友彦 10:15-11:15	515-518 荻野咲子 10:15-11:15	615-618 宅見薫雄 10:15-11:15
23日午後	119-123 萩原保成 13:00-14:15	219-223 石井卓朗 13:00-14:15	319-322 石川隆二 13:00-14:00	419-423 石本政男 13:00-14:15	519-523 山口 修 13:00-14:15	619-623 笹沼恒男 13:00-14:15
	124-127 村井耕二 14:15-15:15	224-227 西尾 剛 14:15-15:15	323-327 藤田直子 14:00-15:15	424-427 井澤 毅 14:15-15:15	524-526 池田達哉 14:15-15:00	624-627 山根京子 14:15-15:15
	128-132 吉田 均 15:15-16:30	228-230 金澤 章 15:15-16:00	328-332 辻本 壽 15:15-16:30	428-432 松原一樹 15:15-16:30	527-529 木原 誠 15:00-15:45	628-631 藪谷 勤 15:15-16:15
		231-233 小西佐江子 16:00-17:30			530-532 下田 聡 15:45-16:30	
133-136 中崎鉄也 16:30-17:30	234-236 堤 伸浩 16:45-17:30	333-335 寺地 徹 16:30-17:15	433-436 掛田克行 16:30-17:30	533-535 大澤 良 16:30-17:15	632-634 江頭宏昌 16:15-17:00	

口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はコンピュータプレゼンテーションです。なお、コンピュータトラブル時用に OHP を用意していますので、OHP シートも必ずご持参下さい。やむをえない事情がある場合に限り OHP での発表も認めます。発表には、必ずご自分のパソコンをご使用ください。また、大会当日、会場にはプレビューコーナーを設け試写用液晶プロジェクターを用意いたします。あらかじめ余裕を持って試写用液晶プロジェクターにて文字化け、段落の崩れ、動作などをご自身で確認してください。D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルをご用意いたしますので、試写用液晶プロジェクターにてケーブルの接続を確認して下さい。一部のノートパソコンでは変換用のアダプタが必要な場合がありますので、必ずお持ち下さい。ノートパソコンから外部モニターや液晶プロジェクターに正しく出力されるかあらかじめ確認しておいて下さい。個々のパソコンや OS により設定方法が異なりますので、事前にご確認下さい。

注意点

1. 画面サイズ（解像度）に関しては、発表に使用する液晶プロジェクターは全て XGA（1024×768）に統一してありますので、ご使用のノートパソコンの解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に必ず合わせて下さい。
2. 外部画像出力コネクタが D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。違う場合は変換用のアダプタをご用意下さい。
3. ノートパソコンのスクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
4. 発表会場のモニター切り替え器には4本の D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルが接続されており、A, B, C, D の記号が付いています。会場の次講演者席、次次講演者席には記号の付いたケーブルが来ていますので記号を確認の上、接続してください。
5. 会場にて電源を用意していますので、電源コードを必ずお持ちください。バッテリートラブルが生じないように次講演者席、次次講演者席近辺に電源タップを用意しておきますので、必ずご利用下さい。電源タップと演台の間は一般的なノートパソコンの電源コードで間に合うようにいたします。
6. 次講演者席、次次講演者席に着いてケーブルを接続したらノートパソコンを起動させてください。ただし、起動音は周りの迷惑になりますのであらかじめミュート（消音）にしておいてください。
7. 画像出力先を外部またはミラーリングに設定しておいてもケーブルが接続されていないと液晶モニターのみ自動的に切り替わってしまう機種があります。その場合にもあわてずに素早く対処できるように、ファンクションキー等を用いた出力先の切り替え法もご確認下さい。
8. 係員が演壇においてコンピュータに接続したケーブル端子の A, B, C, D の記号に合わせてモニター切り替え器のスイッチを切り替えます。接続端子には A, B, C, D の記号が付いておりますので係員に見えるようにしてください。切り替えがうまくいかなかった場合はコンピュータの画面出力先を確認してください。なお、トラブルの時間も講演時間にふくまれますのでご注意下さい。
9. 動画を用いられる場合、Windows XP に関して、出力先をミラーリングに設定してあると動画は液晶画面には映りますがプロジェクタから投影されないことがあります。その際は、出力先を外部のみに切り替えてください。
10. プレビューコーナーには大会期間中常時専門スタッフがおりますので、上記の設定等について不明の点はお尋ね下さい。
11. そのほか、トラブル時用に必ず非常用の OHP シートも用意して下さい。

その他、ご不明の点は愛媛大学育種学会運営委員会 (etaikai@agr.ehime-u.ac.jp) にお問い合わせください。

ポスター発表プログラム

分類群/番号

タイトル

<1. 品種育成>

- P01 ○Hairmansis,A.1・J. M. T. Yanoria2・小林伸哉2・福田善通1 (1.国際農研, 2.国際稲研究所)
IRRIで開発されたイネいもち病抵抗性ユニバーサル判別品種の染色体構成
- P02 ○長谷川明彦、高橋ルミ子、山下耕一郎、川西由紀、佐藤美奈子、大上大輔、筒井一郎、池口正二郎(ホクレン農総研)
QTLマーカーを利用した春まき小麦赤かび病抵抗性系統の育成(予報)
- P03 ○柳澤貴司1・高山敏之1・高橋飛鳥1・土井芳憲2・土門英司3 藤田雅也4・松中 仁4・伊藤昌光5・石川直幸1・杉浦 誠1
(1.近中四農研 2.生研センター 3.生物研 4.作物研 5.普通寺市在住)
多収で精麦品質に優れた裸麦品種「トヨノカゼ」の育成
- P04 ○辻耕治1・田村理1・大野友道1,2・村上啓寿1 (1. 阪大院薬学, 2. 三栄エフ・エフ・アイ(株))
春期栽培可能なアカダイコンの育種研究

<3. 遺伝資源・系統分類>

- P05 ○吉岡洋輔1,岩田洋佳2,田畑美奈子3,二宮正士1,2,大澤良1(1.筑波大生命環境科学,2.中央農研,3.茨城生工研)
画像情報に基づく玄米品質の客観的分類法の開発
- P06 ○武藤千秋1・川野和昭2・谷坂隆俊3・佐藤洋一郎4(1.岐阜大連農,2.鹿児島黎明館,3.京大,4.地球研)
ラオス北部モチイネ在来品種におけるWaxy座内SSR多型の地理的分布
- P07 ○山中慎介1・江花薫子1・倉田のり2・呉健忠1・松本隆1・D.A.Vaughan1・廣近洋彦1・奥野員敏1,3・福岡修一・河瀬眞琴1
(1.生物研, 2.遺伝研, 3.筑波大生命環境)
イネAゲノム近縁野生種のdiversity research set作成に向けた多様性解析
- P08 ○水野信之1・松岡由浩2・宅見薫雄1(1.神戸大農, 2.福井県大生物資源)
AFLP及びSSR分析からみたタルホコムギの種内分化
- P09 ○金子博1・松田靖1・宮越和美1・星良和1・明石良2・村田達郎1(1.九州東海大農, 2.宮崎大・農)
Zoyisia sinicaにおける形態的特徴および分子マーカーを用いた地理的分布と遺伝的類縁関係の評価
- P10 五月女 望1・田島健太郎1・香取正人2・穴戸理恵子1,○野村和成1・池橋 宏1(1.日本大生物資源, 2.香取市水生植物園)
霞ヶ浦北岸に自生するハス群落のAFLPによる遺伝構造解析
- P11 ○宅野将平1・藤本龍2・西尾剛1 (1.東北大院農, 2.遺伝研)
アブラナ科植物種におけるレトロトランスポソンの系統解析

<4. 変異創成>

- P12 ○阿部知子1、林依子1、竹久紀奈子2、安田美智子3、市田裕之1、斎藤宏之1、柏原輝彦4、福田直樹4、小沼亮子4、保倉明子4、寺田靖子5、龍頭啓充1、福西暢尚1、宮沢豊2、仲下英雄6、工藤俊章6、中井泉4、佐藤雅志2、
(1.理研仁科センター、2.東北大学大学院生命科学研究所、3.前川製作所、4.東京理科大学大学院理学研究科、5.高輝度財団、6.理研中央研究所)
イネにおける加速器を用いた変異誘発法および変異体解析法の開発
- P13 ○大坪憲弘1・山口博康1・間電太郎1・阿部知子2(1.農研機構・花き研, 2.理研・仁科加速器センター)
重イオンビーム照射を利用した色変わり組換えトレニアの効率的なバラエティ化
- P14 西原潔1・○風間裕介2・小泉綾子1・河野重行1・阿部知子2 (1.東京大・院・新領域・先端生命, 2.理研・仁科センター)
重イオンビームを用いた雌雄異株植物ヒロハノマンテマの性転換変異体の作出
- P15 ○高橋昌宏1・松田靖1・阿部知子2・村田達郎1(1.九州東海大農, 2.理研加速器)
ニラ(Allium ramosum L.)におけるイオンビーム照射の影響
- P16 ○加藤章夫1・James A. Birchler2 (1.京都府大農学, 2.Univ. of Missouri)
笑気ガス処理による4倍体トウモロコシ系統の作出
- P17 ○和田直樹1、秋山征夫2、大谷基泰3、鈴木剛4、向井康比己4、島田多喜子3、福井希一1
(1. 阪大院工 2. 阪大CASI 3.石川大生資工研 4. 大教大教養学生命科学)
バイオアクティブピース法によるコムギ有用遺伝子群を含む巨大DNAのイネへの導入
- P18 ○黒田昌治1(1.中央農研・北陸研究センター)
アグロバクテリウム混合感染による選抜マーカーフリーな低プロラミンイネ作出の試み
- P19 ○若佐雄也1,小沢憲二郎2,高岩文雄1(1.生物研,2.北農研)
イネ由来1点変異型 ALS 遺伝子を選抜マーカーとしたコシヒカリ系統 a123 の形質転換
- P20 ○小長谷賢一・安藤杉尋・蒲池伸一郎・津田麻衣・萩尾高志・田部井豊 (生物研)
Brassica oleraceaとB. rapaからの雄蕊特異的プロモーターおよび各種内在性遺伝子を利用した雄性不稔系統の作出
- P21 ○藤本龍1・佐々木卓2・品田智隆2・西尾剛2 (1.遺伝研, 2.東北大院農)
Brassica rapaのddm1-RNAi形質転換体における低メチル化の遺伝について
- P22 ○加藤淳太郎1・林麻衣2・池田真由子3・金子祥子1・藤井伸代1・高橋弘子2・大橋広明4・中村都郎2・三位正洋2
(1.愛知教育大生物, 2.千葉大院自然科学, 3.名大院生命農学, 4.愛媛大農学)
Primula kisoana (カツコンソウ; Cortusoides節)とP. takedana (テシオコザクラ; Reini節)およびP. cortusoides (Cortusoides節)とP. takedanaの2種類の節間雑種の作出と特徴
- P23 ○森啓昭1,天野淳二2,林麻衣1,菊池美香3,加藤淳太郎3,三位正洋1(1.千葉大自然科学,2.新潟大農,3.愛知教育大生物)
Primula filchnerae / P. sinensisの種間F1雑種(2n=2x=24)を用いた戻し交配後代と自殖後代に高頻度でみられる2n=25の染色体異常個体

- P24 ○崎山 梢・中島慶則・入船浩平(県立広島大生命環境学)
園芸植物を用いた花粉管経由法による遺伝子導入の試み
- P25 ○菊池真司1・城野浩希2・田中裕之2・辻本壽1,2(1.鳥取大連合農学、2.鳥取大農)
トレニア種属間交雑における花粉管伸長阻害-シロイヌナズナ誘導機構との比較-

< 5. 変異解析 >

- P26 ○林美穂1、清水隆次1、栗坂信之2、池田達哉3、柳沢貴司3
(1.バナソニック四国エレクトロニクス株式会社、2.愛媛県農業試験場、3.近畿中国四国農業研究センター)
アファニティー電気泳動法を利用したSNP検出による裸麦品種簡易判別技術の開発
- P27 ○宮崎 雄太・永山 宇・土井 一行・吉村 淳 (九大院農)
Oryza sativaとO. rufipogonの交雑後代に見られるF1花粉不稔のQTL解析
- P28 ○児玉晃・渡邊敏行・福山利範(新潟大自然研)
イネの穂首維管束系と収量形質との関係および関連形質のQTL
- P29 ○小林創平1・荒木悦子2・大崎満3・福田善通4(1.北農研、2.近中四農研、3.北大院農学、4.国際農研)
イネの第4染色体長腕に座する草型QTLの実証

< 6. 抵抗性・品質成分 >

- P30 ○黒木慎1・松葉修一1・横上晴郁1・清水博之1・安東郁男2・斎藤浩二1・佐藤裕1(1.北海道農研、2.作物研)
北海PL9の穂ばらみ期耐冷性QTL(qCTB-8)のインターバルマッピング
- P31 ○佐藤宏之1、竹内善信、平林秀介1、根本博1、平山正賢1,2、加藤浩1、井辺時雄1、安東郁男1
(1.作物研究所、2.現:茨城県農業総合研究センター生物工学研究所)
陸稲農林12号が保有するいもち病菌抵抗性に関するQTL解析
- P32 ○松中仁・蝶野真喜子・関昌子・藤田雅也((独)農研機構作物研究所)
コムギ種子休眠性QTLのマッピングとその効果について
- P33 ○塔野岡卓司・吉岡藤治(農研機構・作物研究所)
プロアントシアニジン欠オオムギ準同質遺伝子系統の種子休眠性
- P34 ○吉岡藤治1・塔野岡卓司1・河田尚之2(1.農研機構・作物研、2.農研機構・九州沖縄農研)
プロアントシアニジン欠オオムギ準同質遺伝子系統の開花期接種における赤かび病抵抗性
- P35 講演取り消し
- P36 ○笹川克己・福山利範(新潟大学自然科学研究科)
高温ストレス下でのイネ穂首維管束形質と登熟性との関連
- P37 ○田村佳浩・本江昭夫・秋本正博(帯畜大)
イネ品種における刈取り後の再生生長の比較
- P38 ○鈴木保宏1・黒田昌治2・松倉 潮3・青木法明1・堀金 彰3(1.(独)作物研、2.(独)中央農研・北陸研究センター、3.(独)食総研)
プロラミン抑制水稲種子切断面におけるタンパク質分布の顕微赤外分光測定による解析
- P39 ○岡田吉弘1・村田達郎2・松田 靖2・斎藤 彰1(1.九州農研、2.九州東海大)
サツマイモ近縁野生種におけるサツマイモネコブセンチュウ抵抗性関連タンパク質の二次元電気泳動解析
- P40 ○片山健二1・梅本貴之2・高畑康浩1・境哲文1・甲斐由美1・吉永優1(1.九州農研、2.作物研)
サツマイモ低温糊化澱粉系統における澱粉粒結合タンパク質の解析
- P41 ○高畑康浩1、田中勝1、片山健二1、中山博貴1、北原兼文2、菅沼俊彦2、梅本貴之3、吉永優1(1.九州農研、2.鹿児島大、3.作物研)
低温糊化デンプン特性を持つサツマイモ品種のデンプン合成酵素の解析
- P42 ○境 哲文・甲斐由美・片山健二・吉永 優(九州沖縄農業研究センター)
紫サツマイモに含まれるアントシアニンの熱および光に対する安定性の系統間差
- P43 門間隆志1・西場洋一2・菅原晃美2・沖智之2・竹市美和子2・阿部利徳1(1.山形大農、2.九州沖縄農研セ)
エタマメ種皮のプロアントシアニン含量および抗酸化活性
- P44 ○猿田正恭・菊池彰夫・岡部昭典(近中四農研)
ダイズのラッカセイわい化ウイルスに対する抵抗性の品種間差異
- P45 ○山本弘幸1・船附秀行2・正木俊平1・山田哲也1・金勝一樹1(1.農工大農、2.北農研)
低温ストレスによって誘導されるダイズ葉中のDNA結合タンパク質の生化学的解析
- P46 ○西内俊策1・解麗娜1・柳参奎2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター、2.中国東北林業大学)
アルカリ性土壌耐性極強植物Chloris virgata Swartzの耐性機構解明に関する研究(2)Metallothionein1-like proteinの機能解析
- P47 ○解麗娜1・阿部奈津希1・西内俊策1・柳参奎2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター、2.中国東北林業大学)
アルカリ性土壌耐性極強植物Puccinellia tenuifloraの耐性機構解明に関する研究(1)炭酸塩ストレスに対する応答
- P48 ○高橋竜一・高野哲夫(東大アジアセンター)
ヨシカリウムトランスポーターPhaHAK2遺伝子の単離と機能解析
- P49 ○長谷謙一、練春蘭、高野哲夫(東大アジアセンター)
シロイヌナズナCAF1タンパクによるin vitroでのpoliA-RNAの3'poliA特異的分解活性の検出

< 7. 発育生理 >

- P50 ○藤井壯太1・小松節子2・鳥山欽哉1(1.東北大院農,2.農研機構・作物研)
CW型細胞質雄性不稔イネにおける稔性回復系統特異的なALDH2bの解析
- P51 ○正木俊平・山田哲也・金勝一樹(農工大・農)
イネ種子の発芽初期において変動するssDNA結合タンパク質に対する低温処理の影響
- P52 ○安野奈緒子1, 安井雄太1, 高年禮逸朗2, 加藤清明1, (1.帯広畜産大, 2.北大院農)
イネ少分けつrcn1変異体の形質発現
- P53 ○池田真由子1・林少揚2・高師知紀2・香村敏郎3・芦苅基行3・北野英己3
(1.名大院生命農学, 2. HRI-JP, 3. 名大生物機能開発利用研究センター)
イネの穂形成に関する遺伝育種学的研究
- P54 ○高岸愛1, 漆川直希1, 宅見薫雄2, 村井耕二1(1.福井県大生物資源, 2.神戸大農)
コムギにおける穂分裂組織形成パターン変異体の形態学および組織学的解析
- P55 ○小川泰一1・川東広幸1・村井耕二2・半田裕一1(1.農業生物資源研, 2.福井県大生物資源)
コムギ形質転換体を用いたWFT遺伝子の機能解析
- P56 ○宇都木繁子1, 中村信吾2, 前川雅彦1(1.岡山大学資生研, 2.作物研)
コムギVIVIPAROUS1 (TaVP1) による種子の休眠と発芽の調節
- P57 ○杉村哲1・藤本龍2・宅野将平1・西尾剛1(1.東北大院農学, 2.遺伝研)
Brassica rapaの自家和合性品種Yellow sarsonの起源Sハプロタイプの同定とS遺伝子座のゲノム構造の変異
- P58 ○與那覇至、小野寺康之、三上哲夫(北大院農)
ホウレンソウから見出された多様な間性の遺伝解析
- P59 三木雅史・○宮澤美紗子・瀬尾昌子・久保山勉(茨大農)
ペチュニアAn1対立遺伝子間相互作用によって生じる雌性不稔の枝変わりを用いた解析
- P60 ○長谷直哉・松田靖・村田達郎(九州東海大農)
サツマイモの茎頂由来カルス形成過程における組織学的観察

< 8. 増殖 >

- P61 ○吉田智美・岡本吉弘・我妻尚広(酪農学園大学)
イネの薬培養におけるگرانガム培地と寒天培地の組合せの影響
- P62 ○岡本吉弘・我妻尚広 (酪農学園大学)
イネの薬培養においてカルス誘導培地への硫酸銅添加がカルス形成と植物体再分化におよぼす影響
- P63 ○我妻尚広1・瓶井美知子2・岡本吉弘1(1.酪農学園大学, 2.ホームマック(株))
イソツツジにおける採種法の確立

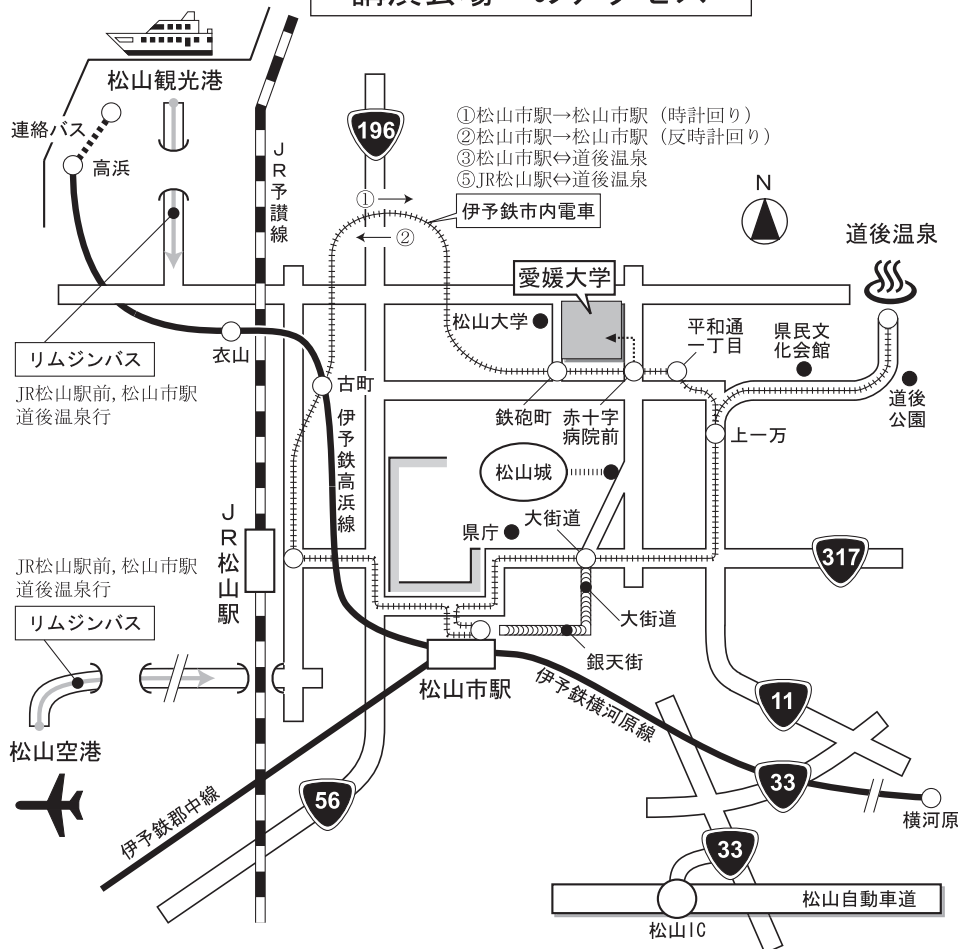
< 9. ゲノム解析 >

- P64 ○齋藤浩二・黒木慎・早野由里子・佐藤裕(北海道農研)
イネ穂ばらみ期耐冷性遺伝子Ctb2のマッピング
- P65 ○厩田淳史1・小池倫也1・荻原保成2・加藤清明3・三浦秀穂3・笹沼恒男2・松本隆4
(1.ホクレン農業総合研究所, 2.横浜市立大学木原生物学研究所, 3.帯広畜産大学, 4.農業生物資源研究所)
コムギ種子休眠性のQTL近傍領域における物理距離の推定
- P66 ○常盤明子・加藤清明・三浦秀穂(帯広畜産)
穂発芽極難品種ゼンコウジコムギの交雑後代における休眠性QTL, QPhs-3ASに対するマーカー選抜
- P67 ○岡本 充智1, 栗坂 信之1, 池田 達哉2, 柳澤 貴司2(1.愛媛県農試, 2.近中四農研センター)
裸麦加工食品からのDNAの抽出とPCRによる多型の検出
- P68 ○陳蘭荘1・井上公一1・森山聡1・杉田亘2・川崎信三・寺尾寛之4
(1.宮崎大フロンティアセ, 2.宮崎県総合農試生物工学, 3.農業生物資源研生理, 4.宮崎大農)
HEGS法を用いたギニアグラスのアポミクシス遺伝子の精密マッピング: 親系統の胚嚢分析と系統樹について
- P69 ○福岡浩之1・宮武宏治1・根来里美1・河野いづみ2・安藤露2・大山暁男1・山口博隆1(1.野菜茶研, 2.STAFF)
Tm-shift PCR 法による一塩基多型検出の安定・省力化の試み
- P70 ○遠山宏和・井上栄一・久保山勉(茨大農)
ペチュニアSSRマーカーの開発
- P71 ○原尚資1, 相井城太郎2, 岩田洋佳3, 大澤良1 (1.筑波大院生命環境, 2.新潟薬科大応用生命, 3.中央農研)
普通ソバ(Fagopyrum esculentum)におけるcDNAマーカーの作成
- P72 ○山本薫1・相井城太郎1・長野美緒2・Clayton campbell2(1.新潟薬科大学応用生命学部, 2.KADE研究所)
極わい性自殖性普通ソバの作出とその特性

<10. 遺伝子・タンパク質>

- P73 ○山根弘子・伊藤友子・小林春美・藤澤雅樹・中村まり・林亜貴子・山形晴美・神谷梢・金森裕之・並木信和・呉健忠・佐々木卓治・松本隆
(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)
イネ属における出穂期間連遺伝子Hd6の塩基配列多様性解析
- P74 ○土岐尚子1・羽方誠1・中村英光1・梶川真理子1・天野晃1・安藤成子1・関原明2・市川尚斉2・篠崎一雄2・松井南2・宮尾安藝雄1・土岐精
一1・長村吉晃1・廣近洋彦1・市川裕章1(1.生物研、2.理研)
FOX Hunting Systemを用いたイネ遺伝子の包括的機能解析と矮性FOXイネ系統の解析
- P75 ○森川要・正木俊平・山田哲也・金勝一樹(農工大農)
分取用電気泳動を利用したイネ種子中のプロテインキナーゼの精製
- P76 ○安藤美保1, 三好健太郎1, 中村英光2, 羽方誠2, 市川尚斉3, 松井南3, 市川裕章2, 廣近洋彦2, 堤伸浩1, 中國幹生1
(1.東大院農学生命科学, 2.生物研, 3.理研)
FOX-hunting systemによる湛水条件下での出芽・苗立ち性の高い系統の選抜
- P77 ○小林史典・宅見薫雄(神戸大農)
バンコムギTaOBFI遺伝子の単離と発現の環境ストレス応答性の解析
- P78 ○中村準1・小林史典1・村井耕二2・宅見薫雄1(1.神戸大農、2.福井県大生物資源)
バンコムギからのVrn-1に相同なcDNAの単離と発現解析
- P79 ○寺嶋彰弘・宅見薫雄(神戸大農)
コムギWdreb2遺伝子の選択的スプライシングパターンにおける種間の多様性
- P80 ○菊地理絵1・塔野岡卓司2・半田裕一1 (1.生物研, 2.作物研)
オオムギのPpd-H2遺伝子の有無による花成関連遺伝子群の発現パターンの比較
- P81 ○Masanori Yamasaki1,2・Stephen I. Wright3・Maud I. Tenailon4・Irie Vroh Bi5・Steve G. Schroeder1・Hector Sanchez-Villeda1・John
F. Doebley6・Brandon S. Gaut7・Michael D. McMullen1,8
(1. University of Missouri-Columbia, 2. Japan Society for the Promotion of Science, 3. York University, 4. Station de Genetique Vegetale, 5.
Cornell University, 6. University of Wisconsin-Madison, 7. University of California-Irvine, 8. U. S. Department of Agriculture)
A large-scale screen for artificial selection in maize identifies candidate agronomic loci for domestication and crop improvement.
- P82 ○津和本亮・高畑義人(岩手大農)
セイヨウナタネ小胞子由来球状胚特異的ESTsの単離および発現解析
- P83 ○張欣欣1・柳参奎2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター、2.中国東北林業大学)
シロイヌナズナcysteine proteinase inhibitor遺伝子の環境ストレス下の発現解析
- P84 ○Park j-i1・遠藤 誠2,3・風間智彦4・箱崎宏和1・川岸万紀子2,3・渡辺正夫1,4
(1.東北大院生命、2.作物研、3. PRO-BRAIN、4. 岩手大21世紀COE)
シロイヌナズナにおける新規LIM タンパク質遺伝子の解析
- P85 ○野田尚信, 数馬恒平, 鈴木正彦(青森農林総研グリーンバイオ)
チョウマメにおけるヒドロキシン桂皮酸1-O-グルコシル基転移酵素遺伝子とポリアシル化アントシアニン合成系遺伝子群の同調的な発現
- P86 ○水田大輝1・記井 豊1・中務 明1・宮島郁夫2・小林伸雄1(1.島根大生物資源科、2.九大熱研セ)
常緑性ツツジの花冠におけるフラボノイド生合成経路に関連する遺伝子の単離と発現解析
- P87 ○中務 明・柴 史子・大谷雅宜・小林伸雄(島根大生物資源科)
ツツジ園芸品種におけるPIおよびAP3遺伝子のクローニングと発現解析
- P88 ○北柴大泰1,2, 伴雄介3, 本多親子1, 森口卓哉1,3 (1.農研機構果樹研, 2.東北大院農, 3.筑波大院生命環境)
オウトウDREB1/CBFオルソログ(CIG)の核局在性及びプロモーターの低温誘導性
- P89 ○橋本和憲・東玲緒奈・入船浩平(県立広島大生命環境)
キウイフルーツにおけるペクチンメチルエステルゼインヒター遺伝子およびポリガラクトンナーゼインヒター遺伝子の病原菌由来エリ
クターに対する発現応答

講演会場へのアクセス



会場（愛媛大学、城北地区）への交通案内

【JR松山市駅から】

伊予鉄道市内電車利用の場合

- 1、2番（いずれも環状線）「赤十字病院前」下車、北へ徒歩5分

伊予鉄バス利用の場合

- 都心循環東西線（東・西循環）「愛媛大学前」下車

【松山市駅から】

伊予鉄道市内電車利用の場合

- 1、2番（いずれも環状線）「赤十字病院前」下車、北へ徒歩5分

伊予鉄バス利用の場合

- 都心循環東西線（東・西循環）「愛媛大学前」下車

JR松山市駅または松山市駅までの交通案内

【松山観光港から】

伊予鉄道郊外電車利用の場合

- 松山市駅まで
松山観光港—高浜駅連絡バス「高浜駅前」下車、「高浜駅」から郊外電車（高浜・横河原線）横河原行き「松山市駅」下車

伊予鉄バス利用の場合

- JR松山市駅まで 高浜線「JR松山市駅前」下車
- 松山市駅まで 高浜線「松山市駅」下車

【松山空港から】

伊予鉄バス利用の場合

- JR松山市駅まで 空港リムジンバス「JR松山市駅前」下車
- 松山市駅まで 空港リムジンバス「松山市駅」下車

講演会場案内図（城北地区）

